

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム さくらそう
日付	平成19年3月13日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス 評価調査員：薬剤師・介護支援専門員 介護経験歴6年
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります！)	

### 外部評価の結果

<p>全体を通して(特に良いと思われる点など) (記述式)</p> <p>昨年と比べて職員間の関係が良くなり、グループホーム全体が明るくなったようです。「まずやってみよう。」という考えのもと、日頃から意見交換を行い、管理者、職員共によく意思疎通ができています。</p> <p>車イスを利用する方が多いグループホームですが、バス旅行を企画し、代表者や職員が協力して、しまなみ街道や須磨、奥津など季節ごとに出かけて親睦を深め、入居者だけでなく、家族からも喜ばれたようです。</p>
<p>改善の余地があると思われる点(記述式)</p> <p>施設内はゆったりとしたスペースが取っており、テーブルやソファなど入居者がくつろげる場所がたくさんあります。自分の好きな場所で過ごせる反面、職員がそれぞれに付き添わなければならない、限られた職員数の中では少し工夫が必要なようです。</p> <p>居室で過ごす時間が長い入居者のために、集団で楽しめる機会を増やすなど、入居者同士がコミュニケーションを深められるよう具体的に提案していくと良いと思います。</p>

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 家庭的な雰囲気の中で、入居者それぞれにその人らしく、機能を維持した日常生活が送れたらと考えています。定期的にマッサージの先生に来てもらい、機能訓練などをお願いしています。入居者のペースで生活してもらい、落ち着いた生活になるようにサポートしています。		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 職員は見守りをしっかり行い、不穏になりかけたら傍らで話をして、常にホローしています。帰宅願望がある入居者もいますが職員が話をすることで対応しています。夫婦で入居されている方が一緒の時には、女性の職員はご主人に話しかけないようにしています。		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 食事の準備や片付け、洗濯物の片付けなどをお願いしています。できることは自分でしてもらいます。また、夫婦で入居されている方も居ます。女性の職員と一緒にいるときは男性の入居者に話し掛けないように気を付けています。		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	新しい職員には一緒に介護にあたり、出来るまで指導しています。研修にはできるだけ参加してもらい、ミーティングの時に話してもらいます。会議の時に出た意見をいろいろ試しています。車イスの入居者が多いですが、全員でバス旅行に出かけたりします。入居者や家族から大変喜ばれるそうです。		